土浦市議会だより

Vol.216
平成27年6月16日発行

TSUCHIURA CITY COUNCIL

記念撮影の席順　(4月26日土浦市議会議員選挙後の議員)庁舎前にて撮影

中村局長	井上圭一	島岡宏明	下村壽郎	平石勝司	今野貴子	塚原圭二	勝田達也
井坂教育長	鈴木一彦	篠塚昌毅	海老原一郎	荒井　武	吉田千鶴子	柴原伊一郎	小坂　博
小泉副市長	柳澤　明	柏村忠志	福田一夫	久松　猛	川原場明朗	矢口　清	五頭副市長
吉田博史	竹内　裕	矢口迪夫	沼田義雄	中川市長	松本茂男	折本　明	内田卓男	寺内　充

目　次

≪特集１≫　一般・特別会計合わせて１,０００億円超えのビッグ予算

土浦市一般会計予算・特別会計予算・・・・・・・・・ 2

≪特集２≫　よろしくお願いします！

新しい土浦市議会議員の顔ぶれ・・・・・・・・・・・・ 8

●平成２７年第１回定例会の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
●一般質問　久松猛・柏村忠志・古沢喜幸・竹内裕・川原場明朗議員・・・・・ 5
　　吉田千鶴子・井坂正典・鈴木一彦・平石勝司・白戸優子議員・・・ 6
　　藤川富雄・松本茂男議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
●平成２７年第１回臨時会の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
●新議長・副議長あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

＜平成２７年第１回定例会のあらまし＞

平成２７年第１回定例会は、３月３日から１７日までの１５日間の会期で開かれました。

土浦市情報公開条例の一部改正についてなどの条例の改正や平成２７年度の一般会計予算、特別会計予算など、市長から４９件の議案が提出されました。

市議会では慎重に審議し、その結果、原案どおり全議案が可決されました。そのほか、市民から提出された請願の採否についても議決しました。

また、９日、１０日、１１日の３日間で一般質問が行われ、１２人の議員が執行部（市長等）に対し市政一般について問いました。

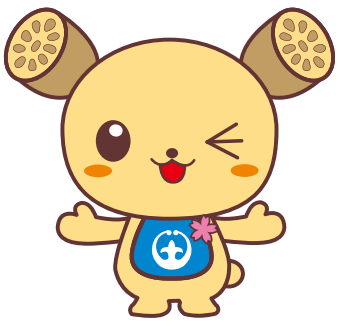
最終日には土浦市教育委員会委員の任命の同意や土浦市公平委員会委員の選任の同意についても審議し、同意しました。そのほか、議員提出議案を４件提出し、これらについても原案どおり可決、また、土浦協同病院移転対策調査特別委員会委員長から最終報告があり、解散となりました。

＜平成２７年第１回臨時会のあらまし＞

平成２７年４月２６日に行われました土浦市議会議員選挙を受け、平成２７年第１回臨時会が５月１９日に開催されました。

臨時会では、議長・副議長選挙、常任委員会委員の選任、議会運営委員会委員の選任、一部事務組合議会議員選挙などが行われました。

その他、市長から報告案件があり承認しました。



市議会だよりがリニューアルしました！！

今号からタブロイド判を採用することにより、紙面の量が増え、以前より多くの議会情報を市民の皆さまにお伝えすることができるようになりました。

土浦市議会基本条例が５月１日から施行され、土浦市議会も議会だより同様「開かれた議会」を目指し、議会報告会の開催を予定するなどリニューアルしていく途上にあります。その様子について議会だよりを通じて皆さまにお届けします。

今後の土浦市議会、土浦市議会議員の活動にご注目ください！！

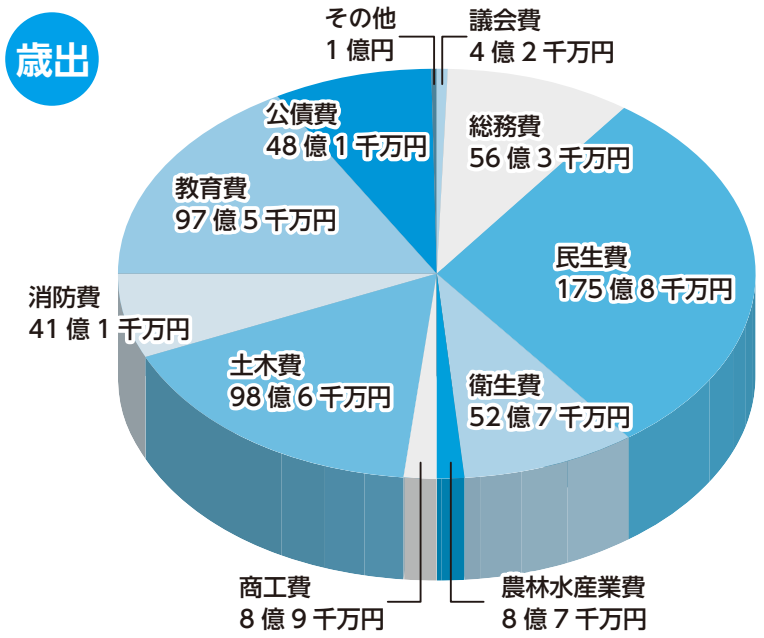
発行/土浦市議会　編集/広報広聴委員会　土浦市下高津一丁目20番35号

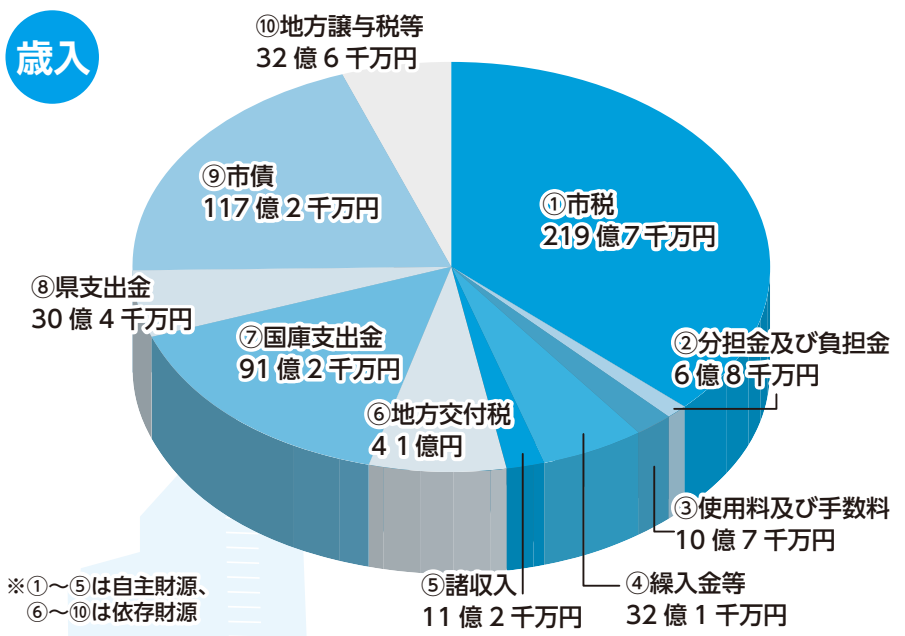
～過去最大規模の予算１，０００億円超え～

平成２７年度土浦市予算（一般会計・特別会計）

慎重に審査し、原案可決！

◆一般会計　５９２億９，０００万円



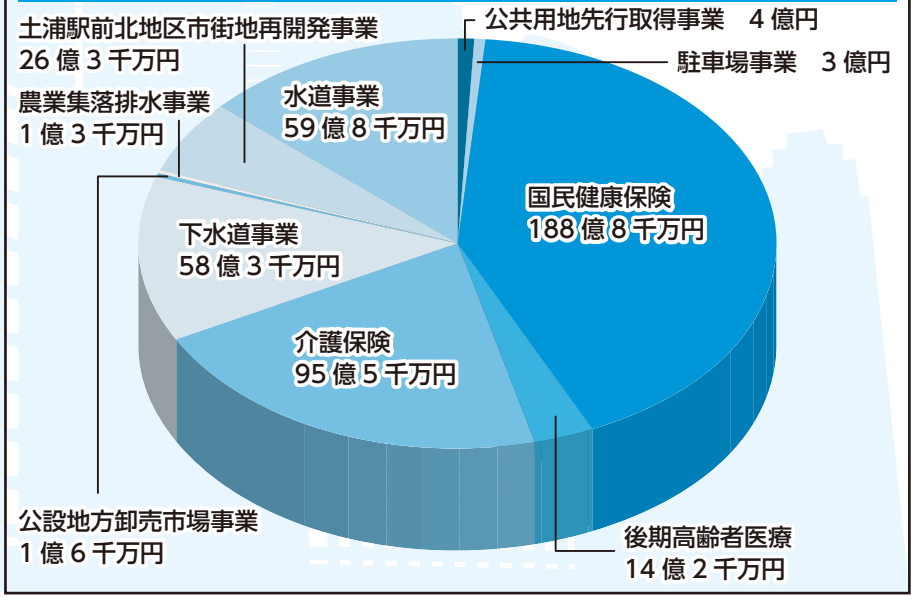


【議会費】議員の報酬や議会を運営管理するための費用
【総務費】まちづくりの各種計画や振興、財産を管理するための費用
【民生費】高齢者や障害者、児童などに充実した生活を送ってもらうための費用
【衛生費】病気の予防、ゴミ処理やリサイクル、環境の保全・保護するための費用
【農林水産業費】農業、林業、水産業、畜産業などの振興のための費用
【商工費】商工業や観光振興のための費用
【土木費】道路や公園、下水道・橋梁等の整備を行うための費用
【消防費】火災の予防や消火、急病人を救助するための費用
【教育費】学校教育や生涯学習の充実、芸術・文化・スポーツ振興のための費用
【公債費】市が借り入れた借金を返済するための費用

＜２６年度との比較＞　※増減の大きい費目のみ

【総務費】	92 億 6,000 万円	→	56 億 3,000 万円（－39.1％）
【衛生費】	47 億 2,000 万円	→	52 億 7,000 万円（＋11.7％）
【土木費】	78 億 4,000 万円	→	98 億 6,000 万円（＋25.8％）
【消防費】	33 億 5,000 万円	→	41 億 1,000 万円（＋22.7％）
【教育費】	77 億 1,000 万円	→	97 億 5,000 万円（＋26.4％）

特別会計（歳出）４５２億８，０００万円



平成27年度予算の主な事業

【総務費】
○協同病院移転新築運営補助金
○新庁舎維持管理費
○個人番号カード事業

▲９月２４日開庁に向け工事が行われている市役所新庁舎

【民生費】
○認定こども園運営経費
○介護保険特別会計繰出の増額
○臨時福祉給付金

【衛生費】
○霞ヶ浦医療センター寄附講座の拡充
○市営斎場建設工事
○生ごみ・プラスチック製容器包装分別収集経費
○衛生センター建替えの計画策定
○清掃センター基幹的施設更新事業

▲今年はどんなデザインになるのか楽しみ！

【農林水産業費】
○そばまつりの開催
○田んぼアート
○農業生産基盤整備

【商工費】
○中心市街地空き店舗新規出店支援
○企業誘致事業
○自治振興金融制度補助

【土木費】
○橋梁長寿命化・耐震化対策事業
○小規模排水路整備
○土浦駅西口広場改修
○亀城モール整備
○神立駅西口地区土地区画整理事業
○真鍋神林線、田村沖宿線延伸道路整備
○荒川沖木田余線、常名虫掛線、川口田中線等街路事業
○住宅リフォーム助成費

【消防費】
○新消防庁舎工事
○消防救急無線デジタル化

【教育費】
○都和小学校校舎改築事業
○学習環境整備費（電子黒板・ＷＥＢ会議システム等ＩＣＴ機器設置）
○新治地区小中一貫教育学校整備事業
○新図書館・ギャラリー整備費用
○学校給食センター再整備事業
○水郷プール再整備工事

▲スライダーが復活する水郷プール（写真は現在）

<第1回> 定例会で決まったこと

ポイント

今定例会は、一般会計592億9千万円、特別会計452億8千万円、計1千45億7千万円という過去最大の予算が提出されました。

また、平成27年度は新庁舎が土浦駅前に完成し、土浦市が新しい一歩を踏み出す大切な年となります。その他にも消防庁舎、市営斎場、水郷プール、図書館の建設など、今後大規模な建設工事が目白押しとなることから、各常任委員会で執行部から詳細に説明を求め、慎重に審査されました。

全議案原案可決！

平成27年第1回定例会が、3月3日から17日に開催されました。

今回可決された議案のうち、平成27年度一般会計予算は過去最大の592億9千万円を計上するもので、主な事業は2頁のとおりとなっております。

条例の改正等については、土浦市情報公開条例の一部改正をはじめ、土浦市合併振興基金条例の制定、土浦市保育所における保育の実施に関する条例の廃止についてなど21件が提出されました。

そのほか、下水道事業や水道事業、国民健康保険など、平成27年度の特別会計予算も提出され、原案どおり可決されました。

最終日には、人事案件2件が出され、土浦市教育委員会委員の任命と土浦市公平委員会委員の選任について同意しました。

また、前回の定例会で制定された「土浦市議会基本条例」制定に伴い、土浦市議会委員会条例と土浦市議会会議規則の一部改正について議員提出議案が提出され、原案どおり可決されたほか、土浦協同病院移転対策調査特別委員会の最終報告がなされ、解散となりました。

議案質疑

議案質疑とは

議案には執行部から提出されるものと議員から提出されるもの（議員提出議案）がありますが、その提出された議案について提出者に議案の内容や理由などの疑問点や不明な点を尋ねます。

今定例会では2名の議員から議案質疑が出され、議案の内容について質疑が行われました（議案名のみ掲載）。

【柏村忠志議員】

○議案第12号　土浦市介護保険条例の一部改正について

○議案第22号　平成27年度土浦市一般会計予算

○議案第28号　平成27年度土浦市下水道事業特別会計予算

討論

討論とは

議案に対して賛成か反対の自己の意見を述べることをいいます。

討論を行うことにより、議案について、自分の考えと異なる議員や表決態度の未定の議員から自分の考えについて、同調を得ることが可能となり、議案の可否について大きな影響を与えることができます。

今定例会では1名の議員が討論を行いました。討論を行った議案は次のとおりです。

【古沢喜幸議員】

○議案第4号　土浦市特別職の職にある者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について（反対）

○議案第12号　土浦市介護保険条例の一部改正について（反対）

○議案第17号　地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について（反対）

○議案第20号　土浦市教育委員会教育長の勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について（反対）

○議案第22号　平成27年度　土浦市一般会計予算（反対）

○議案第25号　平成27年度　土浦市国民健康保険特別会計予算（反対）

○議案第28号　平成27年度　土浦市下水道事業特別会計予算（反対）

○議案第32号　平成27年度　土浦市水道事業会計予算（反対）

○受理番号3　「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書提出に関する請願書の委員長報告に対して（反対）

【海老原一郎議員】

○議案第22号　平成27年度土浦市一般会計予算

議案等議決結果

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
	会期の件	27. 3. 3	27. 3. 3	原案可決
議案第1号	土浦市情報公開条例の一部改正について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第2号	土浦市行政手続条例の一部改正について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
	内容 行政への適正な権限行使を求めることなどの規定を加えるための改正。			
議案第3号	土浦市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
	内容 公益法人制度改革に伴い、本条例において規定する当該法人においても同様に名称を改めるための改正。			
議案第4号	土浦市特別職の職にある者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
	内容 常勤の特別職として教育長を規定し、教育委員長の職が廃止となるためその規定を削除する他、市産業医の報酬やいじめ問題対策連絡協議会等の委員報酬等について定める。			
議案第5号	土浦市国民健康保険税条例の一部改正について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第6号	土浦市手数料条例の一部改正について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第7号	土浦市保育所条例の一部改正について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第8号	土浦市療育支援センター条例の一部改正について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第9号	土浦市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第10号	土浦市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第11号	土浦市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第12号	土浦市介護保険条例の一部改正について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
	内容 平成２７年度から２９年度までの保険料額を定める。			
議案第13号	土浦市駐車場条例の一部改正について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第14号	土浦市建築基準条例の一部改正について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第15号	土浦市立幼稚園保育料等徴収条例の一部改正について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
	内容 一律であった幼稚園保育料を所得に応じた階層ごとの料金を定めることによる改正。			
議案第16号	土浦市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の一部改正について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第17号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例等の整備等に関する条例の制定について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
	内容 新教育長が常勤の特別職となることから、市長及び副市長と同様に給与を定め、その扱いについて特別職報酬等審議会の所掌事項に加え、一般職について規定する職員の定数の対象外とするなどの改正。			
議案第18号	土浦市合併振興基金条例の制定について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
	内容 合併したことによる市の一体感の醸成や地域振興などを目的とした合併振興基金を造成するための条例制定。			
議案第19号	土浦市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第20号	土浦市教育委員会教育長の勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
	内容 教育委員会の制度改革に伴い、教育長が特別職となり一般職について定める地方公務員法の適用除外となることから、新教育長の勤務時間及び職務専念義務を定める。			
議案第21号	土浦市保育所における保育の実施に関する条例の廃止について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第22号	平成２７年度土浦市一般会計予算	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
	内容 ２頁下段「平成２７年度予算の主な事業」参照			
議案第23号	平成２７年度土浦市公共用地先行取得事業特別会計予算	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第24号	平成２７年度土浦市駐車場事業特別会計予算	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第25号	平成２７年度土浦市国民健康保険特別会計予算	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
	内容 (歳入) 保険税・共同事業交付金等 (歳出) 保険給付費・共同事業拠出金・検診助成費等			
議案第26号	平成２７年度土浦市後期高齢者医療特別会計予算	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第27号	平成２７年度土浦市介護保険特別会計予算	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第28号	平成２７年度土浦市下水道事業特別会計予算	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
	内容 (歳入) 受益者負担金・使用料・一般会計繰入金等 (歳出) 汚水管渠布設工事費・雨水幹線整備事業・雨水貯留施設設置補助金等			
議案第29号	平成２７年度土浦市公設地方卸売市場事業特別会計予算	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第30号	平成２７年度土浦市農業集落排水事業特別会計予算	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第31号	平成２７年度土浦市土浦駅前北地区市街地再開発事業特別会計予算	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第32号	平成２７年度土浦市水道事業会計予算	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
	内容 (歳入) 水道料金等 (歳出) 建設改良費等			
議案第33号	土浦市新庁舎整備工事（１工区）請負変更契約の締結について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
	内容 資材の高騰、また、改修時に新たに判明した支障物対応の追加工事をする必要が生じたことによる契約額の増額変更。			
議案第34号	ウララ広場大屋根設置工事請負変更契約の締結について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
	内容 議案第33号に同じ。			
議案第35号	土浦駅西口ペデストリアンデッキ整備工事請負契約の締結について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第36号	市道の路線の認定について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第37号	市道の路線の変更について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第38号	市道の路線の廃止について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
議案第39号	訴えの提起について	27. 3. 3	27. 3.17	原案可決
	内容 市営住宅の滞納家賃の納付及び明け渡しを求める。			
諮問第1号	公の施設を利用する権利に関する処分についての審査請求について	27. 3. 3	27. 3.17	却下が妥当である
	内容 土浦市老人福祉センター「うらら」に設置してあるマッサージチェアは利用休止時間を設けているが、連続使用を申請した利用者に対し社会福祉協議会が理解を求めたが、これを不服とし審査請求が出され、議会で諮問となる。			
報告第1号	専決処分の報告について（和解について）	27. 3. 3	27. 3. 3	報　告
報告第2号	専決処分の報告について（和解について）	27. 3. 3	27. 3. 3	報　告
報告第3号	専決処分の報告について（和解について）	27. 3. 3	27. 3. 3	報　告
報告第4号	専決処分の報告について（和解について）	27. 3. 3	27. 3. 3	報　告
報告第5号	専決処分の報告について（和解について）	27. 3. 3	27. 3. 3	報　告
議案第40号	平成２６年度土浦市一般会計補正予算（第８回）	27. 3.11	27. 3.17	原案可決
	内容 国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」による「まち・ひと・しごとの創生」を推進することに伴う補正。			
議案第41号	平成２６年度土浦市一般会計補正予算（第９回）	27. 3.11	27. 3.17	原案可決
	内容 決算見込み、事業費の確定に伴う増減、事業の繰越し等に伴う補正。			
議案第42号	平成２６年度土浦市駐車場事業特別会計補正予算（第１回）	27. 3.11	27. 3.17	原案可決
議案第43号	平成２６年度土浦市国民健康保険特別会計補正予算（第３回）	27. 3.11	27. 3.17	原案可決
議案第44号	平成２６年度土浦市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２回）	27. 3.11	27. 3.17	原案可決
議案第45号	平成２６年度土浦市介護保険特別会計補正予算（第３回）	27. 3.11	27. 3.17	原案可決
議案第46号	平成２６年度土浦市下水道事業特別会計補正予算（第３回）	27. 3.11	27. 3.17	原案可決
議案第47号	平成２６年度土浦市土浦駅前北地区市街地再開発事業特別会計補正予算（第２回）	27. 3.11	27. 3.17	原案可決
議案第48号	土浦市教育委員会委員の任命の同意について	27. 3.17	27. 3.17	原案同意
議案第49号	土浦市公平委員会委員の選任の同意について	27. 3.17	27. 3.17	原案同意
議員提出議案第1号	土浦市議会委員会条例の一部改正について	27. 3.17	27. 3.17	原案可決
	内容 教育委員会の委員長の職が廃止され、職務が新教育長に一本化されることによる改正。			
議員提出議案第2号	土浦市議会会議規則の一部改正について	27. 3.17	27. 3.17	原案可決
	内容 「自由討議」及び「広報広聴委員会」に関し規定する。			
	土浦協同病院移転対策調査特別委員会調査報告について	27. 3.17	27. 3.17	報　告
	発言の取り消しについて	27. 3.17	27. 3.17	許　可
議員提出議案第3号	労働者保護ルール改悪反対を求める意見書について	27. 3.17	27. 3.17	原案可決
議員提出議案第4号	「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書について	27. 3.17	27. 3.17	原案可決
	内容 「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書提出に関する請願書が採択されたことに伴い意見書を関係機関に提出。			
	閉会中の事務調査について	27. 3.17	27. 3.17	原案可決

※色付き部分は賛否が分かれた案件について内容を記載。

各議員の議案に対する賛否の状況

議案名＼議員名	1 平石勝司	2 白戸優子	3 吉田千鶴子	4 荒井武	5 福田一夫	6 古沢喜幸	7 久松猛	8 鈴木一彦	9 入江勇起夫	11 篠塚昌毅	12 藤川富雄	13 柴原伊一郎	14 井坂正典	15 海老原一郎	16 柳澤明	17 矢口清	18 吉田博史	19 寺内充	20 柏村忠志	21 中川敬一	22 川原場明朗	23 竹内裕	24 内田卓男	25 矢口迪夫	26 折本明	27 沼田義雄	28 松本茂男	賛成	反対
議案第3号　土浦市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	○	○	23	3
議案第4号　土浦市特別職の職にある者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	23	2
議案第12号　土浦市介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	-	○	○	○	○	22	4
議案第17号　地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	○	○	22	4
議案第20号　土浦市教育委員会教育長の勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	○	○	23	3
議案第22号　平成27年度土浦市一般会計予算	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	24	2
議案第25号　平成27年度土浦市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	24	2
議案第28号　平成27年度土浦市下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	24	2
議案第32号　平成27年度土浦市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	24	2
議員提出議案第4号　「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書について	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	24	2

賛成…○　反対…×　※賛否が分かれた案件のみを掲載。　※議長（内田卓男）は採決に加わらない。

議員提出議案第1号～第4号の内容

◆第1号　土浦市議会委員会条例の一部改正について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正されたことで、教育委員会の委員長の職が廃止され、職務が新教育長に一本化されることから、第21条中の「教育委員会の委員長」を「教育委員会の教育長」に改めるものです。

◆第2号　土浦市議会会議規則の一部改正について

土浦市議会基本条例の制定による改正で、次の2点が主な改正点となります。

①自由討議に関する規定

議員間で自由に討議を行い議論を尽くし、合意形成に努める。

②議会報編集委員会に代わる広報広聴委員会に関して規定。

◆第3号　労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の提出について

◆第4号　「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書について

3・4号は、請願事項について、市議会から意見書を関係省庁等に提出してほしいとの請願を受け、所管委員会で審議し採択となったことから本会議に上程。本会議においても可決されたため、意見書を送付するものです。

教育委員会委員 公平委員会委員 決まる！

議会最終日（3月17日）に市長から土浦市教育委員会委員の任命の同意、土浦市公平委員会の選任の同意について説明があり、同意しました。

○土浦市教育委員会委員
説田賢哉氏

○土浦市公平委員会委員
小出弘子氏

土浦協同病院移転対策調査特別委員会委員長最終報告（全文）

土浦協同病院移転対策調査特別委員会は、新病院の建設地が「おおつ野」に決定したことから、本市の地域医療の低下及び真鍋地区の空洞化の懸念を払しょくするため、また、新病院の医療体制や現施設の利活用等についての調査研究を行うため、平成23年第3回定例会において、8名の委員をもって設置されました。

これまで、8回の委員会を開催し、調査・研究を重ねて参りました。

以下、開催状況並びにその経過について申し上げます。

平成23年9月21日に第1回委員会を開催し、正・副委員長を選出したあと、今後の委員会の進め方について話し合いました。

第2回委員会は11月1日に開催し、正副議長及び特別委員会の正副委員長の4名で、土浦協同病院の名誉院長及び病院長に面会したこと、さらに正副議長及び委員長の3名で、茨城県厚生農業協同組合連合会への訪問を予定している旨を報告し、今後の調査事項等について、協議を行いました。

第3回委員会は、執行部を交え11月21日に開催いたしました。協議内容は、厚生連への補助金問題や病院が移転した後の真鍋地区のまちづくりについて、市としての考え方や対応について質しました。この時、新病院の概要や現施設の跡地利用について、厚生連から直接説明を受けるべきとの意見が出されましたので、正副議長及び正副委員長の4名で、12月1日に土浦協同病院を訪問し、説明機会を設けていただくよう名誉院長に要望をしてまいりました。

その結果、平成24年6月14日に、全議員を対象に、新土浦協同病院の基本設計についての説明を、厚生連の代表理事理事長から受けることができました。

同日、説明会終了後に第4回目の委員会を開催いたしました。新病院の基本設計、また、真鍋地区へ診療機能を残すこと、合わせて本院の後方ベットとして老人保健施設を検討しているなど、厚生連の考えが分かりましたので、特別委員会の今後の進め方について、再度、協議を行いました。

出された意見として、真鍋地区へ診療機関を残すことについては、地元医師会の協力が必要なので、医師会からの意見を聞く機会を設けるべきであるとの意見がありました。

▲現在建設中の土浦協同病院（おおつ野）

土浦市公平委員会委員の選任の同意について説明があり、同意しました。

○土浦市教育委員会委員
説田賢哉氏

○土浦市公平委員会委員
小出弘子氏

のとなるよう、協同病院側との協議を速やかに実施する旨の要望書を、正副委員長名で、平成25年6月18日に市長に提出しました。

平成25年12月16日、第6回委員会を開催、建設中の病院の進捗状況を調査いたしました。

さらに平成26年5月26日第7回委員会を開催、新病院の耐震工事の進捗状況を調査いたしました。

また、執行部から委員会の開催依頼があったことから、11月18日に第8回委員会を開催しました。執行部からは、新病院移転新築事業に対する補助や真鍋地区における厚生連の病院跡地利用計画案の説明がありました。この説明で、土浦市は病院の建設経費の補助として、平成26年度に、合併特例債を活用して15億円。平成27年から36年までの10年間、運営経費の補助として、一般財源から年1億円、合計10億円の補助をすることが明らかにされ、厚生連では、真鍋地区には、現在の救急救命センターの1階に、内科・小児科・整形外科の診療所が開設されるとして、おおつ野から神立方面へ道路新設を計画しているとの説明がありました。

しかし、中川市長が「平成25年度の市政運営の方針と施策の概要」の中で、土浦協同病院の移転に伴う診療機能の一部存続について協議を行うことを明らかにしているが、市と厚生連との間に、積極的な話し合いが行われていないのではとの意見があり、委員長の発案で、真鍋地区への診療機能の存続が確実なものとなるよう、協同病院側との協議を速やかに実施する旨の要望書を、正副委員長名で、平成25年6月18日に市長に提出しました。

平成25年12月16日、第6回委員会を開催、建設中の病院の進捗状況を調査いたしました。

さらに平成26年5月26日第7回委員会を開催、新病院の耐震工事の進捗状況を調査いたしました。

また、執行部から委員会の開催依頼があったことから、11月18日に第8回委員会を開催しました。執行部からは、新病院移転新築事業に対する補助や真鍋地区における厚生連の病院跡地利用計画案の説明がありました。この説明で、土浦市は病院の建設経費の補助として、平成26年度に、合併特例債を活用して15億円。平成27年から36年までの10年間、運営経費の補助として、一般財源から年1億円、合計10億円の補助をすることが明らかにされ、厚生連では、真鍋地区には、現在の救急救命センターの1階に、内科・小児科・整形外科の診療所が開設され、がんセンターは老人保健施設に、また、救急救命センターの2階以上には、サービス付き高齢者住宅等の開設を検討していることが分かりました。

これらの進展は、当特別委員会が、平成25年6月18日に市長宛に提出した要望書の成果であると考えております。

これまでの経緯を踏まえた上で、今後も茨城県厚生連と協議を重ね、土浦協同病院のおおつ野移転が、土浦市民の一層の安心・安全と、地域医療の向上に繋がるよう、万全の協力態勢を取っていただくことを、強く要望するものであります。

請願の結果

継続審査となった議題	不採択となった議題	採択された議題
なし	1件	2件

不採択となった請願についての委員長報告

受理番号19　緊急の過剰米処理を求める請願

【請願内容】

2014年産米に対し、緊急に過剰米処理を行うよう、政府等関係機関にはたらきかけること。

【環境経済委員長報告】

請願の趣旨は理解できるが、現在、2014年産米の価格下落に対し、国においての施策は講じられている現状から、採決の結果、賛成少数で不採択とすべきものと決しました。

なお、今後、同様の請願や陳情が提出された際には、慎重に審査を進めながらも、早期に採決すべきとの意見がありましたことを申し添えます。

請願議決結果

受理番号	件名	上程年月日	議決年月日	結果
受理番号3	労働者保護ルール改悪反対を求める請願書	26. 3. 4	27. 3.17	採択
受理番号19	緊急の過剰米処理を求める請願	26.12. 2	27. 3.17	不採択
受理番号3	「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書提出に関する請願書	27. 3. 3	27. 3.17	採択

各議員の請願に対する賛否の状況

請願名＼議員名	1 平石勝司	2 白戸優子	3 吉田千鶴子	4 荒井武	5 福田一夫	6 古沢喜幸	7 久松猛	8 鈴木一彦	9 入江勇起夫	11 篠塚昌毅	12 藤川富雄	13 柴原伊一郎	14 井坂正典	15 海老原一郎	16 柳澤明	17 矢口清	18 吉田博史	19 寺内充	20 柏村忠志	21 中川敬一	22 川原場明朗	23 竹内裕	24 内田卓男	25 矢口迪夫	26 折本明	27 沼田義雄	28 松本茂男	賛成	反対
受理番号19　緊急の過剰米処理を求める請願	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	-	○	○	○	○	22	4
受理番号3　「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書提出に関する請願書	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	○	○	23	3

賛成…○　反対…×　※賛否が分かれた案件のみを掲載。　※議長（内田卓男）は採決に加わらない。

一般質問

一般質問とは、市政全般（一般）について市長などの執行部の考え、方針を質問することです。複数の質問を行った議員もいますが、紙面の都合上、一つ取り上げ要旨を掲載しています。

久松　猛

Q 介護保険料の減免制度の実績について伺う。

A【保健福祉部長】

介護保険料の減免は、東日本大震災で被災された方182名、平成25年度に火災の被害を受けた1名の方に行っており、全額免除している。

また、減免制度のほかに「境界層措置」という制度があり、これを適用することで施設の居住費や高額サービスの基準、介護保険料などを本来の基準額より下げることができ、今年度は1名が適用となっている。

さらに、居宅サービス利用においては、利用者負担額の2分の1を助成する、本市独自の「居宅介護サービス利用者負担額助成事業」や、要介護4・5の方の利用限度額を超えて利用した費用に対し上乗せして給付する「居宅介護サービス特別事業」等も実施している。

【その他の質問事項】

・保育所保育料について

・デング熱の感染対策について

柏村忠志

Q 介護保険料の年金からの天引きや低収入・無収入の高齢者に介護保険料を課すことは、憲法第25条に反していないのか。見解を問う。

A【保健福祉部長】

平成18年3月の最高裁の判例では、「介護保険の第1号被保険者の保険料は、高齢期の要介護リスクに備えるために高齢者に課せられるものであり、その日常生活の基礎的な経費に相当するということができる。そして、一定額を下回る老齢退職年金給付を特別徴収の対象としていないことを踏まえれば、老齢退職年金給付から保険料を特別徴収することが、公的年金制度の趣旨を没却するものということはできない。

また、特別徴収の対象は、公訴公課禁止規定の趣旨に配慮して、老齢基礎年金及びこれに相当する年金とされている。」

「以上のことから、特別徴収の制度は、著しく合理性を欠くということはできないし、経済的弱者を合理的な理由なく差別したものではないことから、憲法14条、25条に違反しない」と判断されている。

さらに、「市町村民税を非課税とされている者について、一律に保険料を賦課しないものとする旨の規定を設けていないとしても、それが著しく合理性を欠くことはできず、経済的弱者について合理的な理由のない差別をしたものということもできず、憲法第14条および第25条に違反しない」と判断されていることから、憲法第25条には違反していないものと考えている。

【その他の質問事項】

・戦後70年。市長の歴史観、認識について

・TX延伸に向けて

古沢喜幸

Q プレミアム付商品券は、大勢の市民に行き渡るように、また、対象店舗を全店舗にした方がよいと思うが。

A【産業部長】

プレミアム付商品券の発行実績は、プレミアム分を1割として、平成18～20年度までが2億2千万円、平成21年度が4億4千万円、平成22年度～26年度までが3億3千万円で、商品券の額面は1セット1万1千円を1万円で購入でき、購入限度額を1世帯10セット、10万円までとして実施している。

商品券が使用可能な取扱店は、平成26年度で578店舗・事業所で、土浦商工会議所と協賛団体の新治商工会の会員を対象としている。

平成27年度については、国の交付金事業を活用して実施することから、プレミアム率を1割から2割に引き上げ、発行額も倍増の6億6千万円とする予定である。

したがって、販売方法や対象店舗等については、より多くの購入希望者に行き渡るよう工夫を凝らすとともに、より多くの事業所で使用できるよう、事業主体である商工会議所と事業の詳細について検討を行い、本事業の目的である消費拡大と地域経済の活性化が十分図られるよう取り組みたい。

【その他の質問事項】

・新庁舎の什器について

・市役所広場（ウララ広場）の活用について

竹内　裕

Q 空き家等の適正管理に関する条例施行後の状況と今後の対応について伺う。

A【市民生活部長】

条例施行後に空き家戸数把握のため現地調査を行った結果308戸、市民からの情報提供により93戸、計401戸の空き家を把握している。管理状況の内訳は、「問題がある空き家」272戸、「空き家であっても適正に管理されているもの」129戸である。

「問題がある空き家」については所有者の確認を行い、272戸中146戸に対し条例に基づく助言や指導等を行い、96戸で改善が図られた。今後も市民から協力をいただき、空き家所有者へ適正管理をお願いしながら、良好な生活環境を保全したい。

また、国では平成26年11月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」を公布し、問題がある空き家の所有者に対して、市からの指導や助言に従わない場合の勧告や命令及び罰則規定を設けるなど、問題空き家に対する抑止力強化を図っている。

今後は、法律施行に伴う施策の基本方針を受け、効果的な空き家対策について、様々な取組事例を参考に、調査・研究を行うとともに、関係機関と緊密に連携を図りながら、より効果的な空き家対策の実施に向けた検討を進めたい。

【その他の質問事項】

・児童虐待の現状と対応について

・学校基本調査による土浦市の不登校の現状と対応

・公共交通整備に対する市の取組みと今後の考え方について

川原場　明朗

Q 土浦協同病院のおおつ野移転後の跡地利用について伺う。

A【市長・都市整備部長】

真鍋地区の診療機能の存続については厚生連と協議を進めてきたが、救急センターの1階部分に内科・小児科・整形外科の無床診療所を開設する予定で、2階以上はサービス付高齢者住宅等が検討されている。また、現がんセンターには100床規模の老人保健施設が計画されている。

しかし開設時期については、耐震性の見直し、改修、解体工事も必要となることから明確になっていないとのことである。

現協同病院の跡地周辺地区を含めた真鍋地区のまちづくりについては、都市計画マスタープランの位置付けに基づき、病院跡地周辺地区の低未利用地を活用した計画的なまちづくりを推進するため、これらの土地利用の適切な誘導等をはじめ、沿道型店舗の活用を推進するなど、新たな賑わいを生み出す拠点地区の形成が図れるよう、民間活力による賑わい創出を目指したい。

吉田　千鶴子

Q　つくばりんりんロードと霞ケ浦自転車道の結節点となる土浦。本市と県との相乗効果のある連携と、サイクリング拠点整備に伴う本市の観光政策の展開について伺う。

A【市長公室長】

県においては沿線各市と連携し、日本初の「広域レンタサイクル乗り捨てシステム」の実証実験を実施するほか、サイクリングツアーの開催や案内標識の設置等、様々な事業を予定している。

本市においては、水郷筑波サイクリング環境整備事業推進検討会に参加し、日本一のサイクリングロードの整備を推進しており、安全で魅力的なコース設定や、修理、休憩ができる「自転車サポートステーション」の設置を促進している。現在市内には公共施設やコンビニなど13ヵ所が登録されており、引き続き協力を呼びかけたい。

また、本市独自の取組みとしては、自転車交通ネットワーク整備計画の策定、土浦市観光基本計画にスポーツ・レクリエーション活動の推進を戦略プログラムに位置付けるなど、観光資源としての活用を推進している。

今後においても本市は両ルートの結節点となることから、県と連携を図りながら日本一のサイクリングコースの拠点となれるよう、平成27度策定を予定している「土浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の位置付けについて検討し、サイクリングに訪れる人を取り込んで交流人口増加を図り、観光振興につなげていきたい。

【その他の質問事項】

・かわまちづくりについて

・「きずなメール」について

井坂　正典

Q　本市においても遠隔医療を実施すべきと考えるが、市の見解を伺う。

A【保健福祉部長】

総務省情報流通行政局によると、遠隔医療とは「日本遠隔医療学会の定義を踏まえ、ＩＣＴを利活用した、健康増進・医療・介護に資する行為」と定義されている。

具体的には、病院に簡単に行けない方が、テレビ電話等により医師の指導や病院同等の医療を自宅にいながら受けられるというものである。

本市は医療不足地域ではないこと、また、平成26年度から市が主体となり、土浦市医師会や関係団体との協働による「在宅医療・介護連携拠点事業」を進めており、必要な医療を必要な時に提供できる体制の整備に努めているところである。

遠隔医療は有意義な医療体制ではあるものの、そのためのインフラ整備等について課題も多いことから、慎重に検討したい。

鈴木　一彦

Q　運動公園を整備している中で、サッカー場が不足しているとの指摘があるが、市の見解を問う。

A【市長】

本市に専用グランドはないものの、サッカーができる市の施設は新治運動公園や霞ケ浦総合公園、佐野子の市民運動広場など7ヵ所ほどある。

また、現在整備を進めている（仮称）荒川沖地区市民運動広場は、大人用のサッカーコート1面、子ども用のサッカーコート2面確保できるグランドとなる。

そのほか、小中学校の校庭の一部も開放している。

これらのことから、近隣自治体と比べても少なくない状況にある。

さらに、常名地区に計画している総合運動公園には、専用のサッカー場を整備する予定となっている。

しかし、これらのグランドはほとんどが土のグランドであることから、今後サッカー人口の増加が想定されることを踏まえ、既存グランドを芝生化するなどの改善策や、校庭の活用策などについて研究していきたい。

【その他の質問事項】

・平成26年度の小町の里を中心に行った事業について

・小町の里事業の平成27年度の展望

・公共施設跡地利用における地元からの要望の対応について

平石　勝司

Q　サイクリングや釣り、農産物の販売など霞ケ浦観光事業の複合的な発展のため、京成ホテル跡地に「土浦市・道の駅」を設置してはどうか。見解を伺う。

A【都市整備部長】

現在京成ホテル跡地は芝生化するなど整備を進めているところである。

将来構想としては、公共と民間の連携による、霞ケ浦の眺望を活かした飲食・温浴・観光物産施設、サイクリングやジョギングの拠点、親水公園などの機能導入を進め、合わせてマリーナにおける水上スポーツなども楽しめるような場を描いている。

議員提案の「道の駅」の設置については、国の「道の駅登録・案内要綱」によると、その設置位置は「休憩施設としての利用しやすさや、道の駅相互の機能分担の観点から適切な位置にあること」としている。

そのため、現在県内にある11ヵ所の道の駅のうち、10ヵ所が国道、1ヵ所が県道沿いに立地している状況である。

なお、本地区は平成24年度策定の「まちなかグランドデザイン」において、「湖の駅」として土浦港に隣接する立地特性を活かした複合的な機能導入を検討することとしている。

現在は、民間企業にヒアリングを行い、公共と民間のあり方について検討を行っているところであり、中心市街地活性化基本計画や観光基本計画、かわまちづくり計画においても重要な地区として位置付けていることから、霞ケ浦を活かした観光拠点とすべく、民間活力を取り入れながら、市民や観光客で賑わう場所としたい。

【その他の質問事項】

・地方創生交付金について

白戸　優子

Q　若年就労困難者への就労支援や若年非正規労働者が抱える問題にどのような対応をしているのか伺う。

A【産業部長】

就労支援の取り組みとしては、土浦駅前ウララ3に職業相談・紹介訓練支援など正規雇用での就職の実現を目指す「土浦わかものハローワーク」、また、川口ショッピングモール505にある「まちなか交流ステーションほっとOne」では、毎月第2火曜日にキャリアコンサルタントによる職業自立に向けた出張相談会を行っている。

このほか、市役所本庁舎1階に設置した求人情報パソコンで就労情報の提供、年2回「大好きいばらき就職面接会」を開催している。

若年非正規労働者が抱える問題について、その背景には我が国経済全体の低迷による労働力需要の減少や、企業活動のコスト削減などが大きく影響している。

また、若者があくせく働くことを避ける傾向や社会性の不足によるコミュニケーション能力の問題等、抱える問題は千差万別で、対応は簡単ではないと考える。

しかし、生活への不安を抱え、結婚もままならないといった状況に陥る若者が増えることは、少子高齢化の進行に拍車をかけることから、市としては、国・県との役割分担のもと、新たな企業の誘致や空き店舗を活用した創業支援など、雇用の場の創出に努めたい。

藤川 富雄

Q まち・ひと・しごと創生総合戦略の「まち」「ひと」「しごと」について国の基本的な考え方と、市で策定を進めるうえでの個別・具体的な考え方、施策について問う。

A【市長】

国の総合戦略においては、「東京一極集中の是正」、「若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現」、「地域の特性に即した地域課題の解決」を基本的視点として取り組むこととしている。

それぞれの事項について、「しごと」は若い世代が安心して働ける、相応の賃金や安定した雇用形態など、やりがいのある仕事という雇用の質を重視した「しごとの創生」、「ひと」は地方への新しい人の流れをつくるため、若者の地方での就労を促すとともに、地方への移住・定着を促進する「ひとの創生」、「まち」は地方で安心して暮らせるよう、各地域の特性に即して課題を解決する「まちの創生」を図ることである。

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」は「しごと」を呼び込む好循環を確立することで、地方への新たな人の流れを生み出すこと、また、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻し、人々が安心して生活を営み、子どもを産み育てられる社会環境をつくり出すため、同時かつ一体的に取り組むとされたところである。

地方公共団体においては、目指すべき将来の方向性を示す「地方人口ビジョン」と、人口減少、地方創生を実現するため「地方版総合戦略」の策定が求められている。

個別・具体的な事業について、まち・ひと・しごとの創生の効果を上げるためには、同時かつ一体的に取り組むものであることから、現在推進している第7次土浦市総合計画を基本としながら、本市の特色・実情を的確に把握し、実効性のある施策をつくり上げていくことが重要であると考える。

松本 茂男

Q 神立駅西口地区周辺整備、駅舎橋上化と東西自由通路の進捗及び予定について伺う。

A【都市整備部長】

神立駅西口土地区画整備事業については、平成31年度を事業完了目標としており、現在、減価買収をすべて終了し、平成27年2月5日付で仮換地の指定が終了したため、建物の移転補償がはじまる。

本年度は、仮換地に伴う建築物移転補償を3件予定しており、来年度は、建物移転補償や調査設計で建物等移転計画、公共施設の実施設計および仮設駅前広場工事などを予定している。

さらに、工事工程に合わせ、移転計画も順次進めていく予定となっており、西口の駅前広場4千800㎡や駅前西通り線などの本格的な工事については、平成29年着手、平成30年度完成の予定である。

駅舎橋上化と東西自由通路については、景観に配慮した「帆曳き船」をイメージしたデザイン、障害者団体等の意見を取り入れたバリアフリー化など、今年度から詳細設計を進めており、平成27年度末から工事に着手し、平成30年度の完成を目指している。

神立駅を中心とする神立市街地は、これらの事業を推進しながら、商業・業務、居住などの多様な都市機能を持つ本市の北の拠点として、また、かすみがうら市との交流の拠点としてふさわしい市街地の形成を目指していきたい。

【その他の質問事項】

・認知症施策推進について

・中心市街地活性事業について

<第1回> 臨時会で決まったこと

議長・副議長決まる!

4月26日に行われた土浦市議会議員選挙の結果、新たに6名の議員が誕生し、5月19日、平成27年第1回臨時会が開催されました。

今臨時会では、議長、副議長の選挙が行われ、議長に矢口清議員、副議長に吉田千鶴子議員が就任することとなりました。

そのほか、常任委員会や議会運営委員会委員の選任、一部事務組合議会議員選挙などが行われました。

また、市長から土浦市税条例等の一部改正についてや、土浦市国民健康保険税条例等の一部改正についてなど3件の報告があり承認しました。

議長 矢口 清

副議長 吉田千鶴子

議会運営委員会
委員長 内田 卓男
副委員長 海老原一郎
委員 小坂 博
〃 柳澤 明
〃 寺内 充
〃 福田 一夫
〃 沼田 義雄

【一部事務組合議会】

新治地方広域事務組合議会
議員 下村 壽郎
〃 柴原伊一郎
〃 海老原一郎

湖北環境衛生組合議会
議員 篠塚 昌毅
〃 荒井 武

茨城県後期高齢者医療広域連合議会
議員 矢口 清

土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合議会
議員 勝田 達也
〃 寺内 充
〃 川原場明朗
〃 久松 猛

議案等議決結果

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
	土浦市議会議長の選挙	27. 5. 19	27. 5. 19	選挙
	議席の指定について	27. 5. 19	27. 5. 19	指定
	会期の件	27. 5. 19	27. 5. 19	原案可決
	土浦市議会副議長の選挙	27. 5. 19	27. 5. 19	選挙
	土浦市議会常任委員会委員の選任について	27. 5. 19	27. 5. 19	選任
	土浦市議会議会運営委員会委員の選任について	27. 5. 19	27. 5. 19	選任
	新治地方広域事務組合議会議員の選挙	27. 5. 19	27. 5. 19	選挙
	湖北環境衛生組合議会議員の選挙	27. 5. 19	27. 5. 19	選挙
	土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合議会議員の選挙	27. 5. 19	27. 5. 19	選挙
	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	27. 5. 19	27. 5. 19	選挙
報告第6号	専決処分の承認について（土浦市税条例等の一部改正について）	27. 5. 19	27. 5. 19	承認
報告第7号	専決処分の承認について（土浦市国民健康保険税条例等の一部改正について）	27. 5. 19	27. 5. 19	承認
報告第8号	専決処分の承認について（土浦市介護保険条例の一部改正について）	27. 5. 19	27. 5. 19	承認
報告第9号	専決処分の報告について（和解について）	27. 5. 19	27. 5. 19	報告

議会を傍聴しませんか!

市議会本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴の際は、受付（庁舎3階傍聴席入口）で、住所・氏名を記入して入場してください。

請願・陳情の受付け

請願・陳情は常時受け付けていますが、定例会で取り扱うものは、定例会招集日の4日前までに提出されたものに限ります。

会議録は8月下旬に次の施設で閲覧可能です!

○土浦市立図書館
○支所・出張所（南、上大津、都和、中央、神立、新治）
○地区公民館（各中学校区）

インターネットで市議会の模様が見られます!

土浦市ホームページから「土浦市議会事務局」→「本会議録画配信を選択し検索してください。

＜平成26年度に土浦市へ視察に訪れた市町村議団（受け入れ状況）＞

	視察日	議会名	人数	内容
1	5月 1日	愛知県豊橋市	8	神立資源リサイクルセンターについて
2	6月26日	青森県青森市	9	新庁舎整備について
3	10月 2日	富山県魚津市	11	まちづくり学認定試験について
4	10月15日	茨城県下妻市	10	リノベーション事業について
5	10月20日	大分県宇佐市	9	茨城型地域ケアシステムについて
6	10月21日	静岡県富士市	12	女性消防団員の採用について
7	〃	滋賀県彦根市	9	新庁舎整備について
8	10月22日	福岡県那珂川町	10	防災計画について
9	10月29日	茨城県阿見町	10	電子入札について
10	11月 5日	慶応義塾全国議員連盟	9	中心市街地活性化について・機密文書リサイクル機器導入事業について
11	11月19日	愛媛県西条市	3	中心市街地活性化バスについて
12	12月25日	静岡県御殿場市	5	観光施策の取り組みについて
13	1月28日	栃木県矢板市	11	「カレーのまち土浦」の推進について

土浦市議会では、積極的に行政視察の受け入れを行っています。

土浦市の事業や施策を勉強しに来られた方々です

市民のみなさまにとっても『誇れる土浦市』となるよう、私たち28名は頑張ります！私たちの活動を見ていてください！！

就任あいさつ

議長　矢口　清

この度、改選後初の臨時議会に於きまして、第47代議長に就任いたしました。私は、自らの浅学非才を顧みまして責任の重大さを痛感しているところです。選任されました以上は、円滑な議会運営と市政伸展のため、全力を尽くす所存です。

議会基本条例が5月1日に施行されました。分かりやすい議会運営、開かれた議会づくりに努め、市民のみなさまの期待に応えていきたいと考えています。

議会改革は、今後も継続して取り組みます。喫緊の課題、人口減少、少子高齢化、地方創生では具体的施策の提案をしていきます。今後とも、市民のみなさまのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げまして、就任のあいさつといたします。

副議長　吉田　千鶴子

この度、副議長の大任を拝し身の引き締まる思いでございます。もとより力はありませんが、市民福祉向上、市政発展のため、議長を補佐し一所懸命取り組んでまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

本市は市政施行75周年を迎え、本年9月24日に新庁舎が土浦駅前に移転開庁いたします。

このような市政発展の大きな節目の年であり、地方創生元年の年、土浦市が人口減少や経済の停滞などの閉塞感から脱却し、土浦の誇りを取り戻し、人が輝く大切な一年にしてまいりたいと思います。

また、土浦市議会基本条例が本年5月1日より施行され初めてとなる、市民のみなさまへの議会報告会を広報広聴委員会中心に全議員で開催をして参ります。市民のみなさまに多数ご出席していただけるよう取り組んでまいります。

結びに、市民のみなさまのご健勝とご多幸、ご繁栄をご祈念申し上げますとともに、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げあいさつといたします。

常任委員会のメンバー

常任委員会とは、本会議ですべての議案を細かく審議することは効率的でないため、本市議会ではそれぞれの分野を４つ（７名）に区分けし、その区分けした部門ごとの事務に対し、自主的に調査をしたり、議会から審査を任された議案や請願などを審査する常設の機関のことをいいます。
（※氏名右の丸数字は期数）

環境経済委員会

【市民生活部、産業部、農業委員会事務局の所管に関する事項】

委員長

篠塚　昌毅③
荒川沖西2-20-4
841-2130

副委員長

荒井　武④
永国592-2-21E
826-8555

下村　壽郎①
乙戸1017
841-1176

柴原伊一郎③
藤沢1467
862-2659

川原場明朗⑤
中神立町8-28（事務所）
831-7000

折本　明⑩
港町1-13-8
821-0313

沼田　義雄⑩
城北町3-1
823-0436

総務委員会

【市長公室、総務部、会計課、消防本部の所管に関する事項、他の常任委員会に属さない事項】

委員長

海老原一郎④
真鍋3-13-1
821-4350

副委員長

平石　勝司②
神立町672-36
832-3586

島岡　宏明①
右籾1882（事務所）
897-3024

今野　貴子①
小松1-1-14（事務所）
893-4820

吉田　博史⑤
常名309-3
821-2568

矢口　迪夫⑧
中高津1-12-18
822-0565

久松　猛⑨
木田余東台5-3-15
822-6494

都市建設委員会

【建設部、都市整備部の所管に関する事項】

委員長

小坂　博③
桜町1-13-3（事務所）
821-0458

副委員長

勝田　達也①
神立町3623
831-0523

吉田千鶴子④
中村南1-7-2
841-5286

矢口　清④
田宮674-3
862-4777

寺内　充⑤
川口1-11-5（事務所）
821-6757

竹内　裕⑦
下高津4-8-4
822-6998

内田　卓男⑦
中高津3-19-22
822-1380

文教厚生委員会

【保健福祉部、教育委員会事務局の所管に関する事項】

委員長

鈴木　一彦③
藤沢3434-5
862-5177

副委員長

塚原　圭二①
中村南3-9-19
842-0927

井上　圭一①
右籾2945-102（事務所）
886-4642

栁澤　明④
右籾1681-98
842-0119

柏村　忠志⑤
中高津1-3-9
824-8073

福田　一夫⑥
乙戸858-5
842-2750

松本　茂男⑪
桜町4-2-1
821-1770

広報広聴委員会

委員長　吉田千鶴子
副委員長　篠塚　昌毅
委員　鈴木　一彦
委員　小坂　博
委員　海老原一郎
委員　内田　卓男

【編集後記】

本年5月に施行された土浦市議会基本条例により、名称を広報広聴委員会と改め、新聞サイズやデザインを一新した記念すべき第1号の編集に携われて大変光栄に思っています。当委員会では広報紙発行のほか、報告会の企画運営を実施し、市民のみなさまに本市の政策や課題等、議論された内容をよりわかりやすくご報告しますので、これから当委員会の活動に注目してください。

（副委員長　篠塚昌毅）

【次回定例会の予定】
9月1日（火）～15日（火）
（一般質問7～9日）の予定です。

【市民のみなさまからのご意見募集!】

広報広聴委員会では、みなさまに読んでいただける議会だよりを作成するにあたり、ご意見・ご要望を募集いたします。「議員のココが知りたい」「こんな特集を組んでほしい」という事項がありましたら、下記までお寄せください。

〒300-8686　土浦市下高津1丁目20番35号
土浦市議会事務局　FAX:029-826-3379

また、メールの場合は、土浦市議会ホームページの「お問い合わせ」の中の「お問い合わせフォーム」から送信願います。